



人を育て 地域を創る

文責：玉名市教育委員会 社会教育指導員 村田二昭

玉名市地域学校協働本部
事業だより第58号
令和4年6月1日

今日が今年最後の「五月晴れ」かな、と思いつつ庭に出ると、青葉が茂る近くの林からホトトギスの鳴き声が響いてきました。あとは鯉ですが…。

目には青葉 山ほととぎす 初鯉 (山口素堂)

夏の季語が3つ、調子よく詠み込まれ、快く響きます。

5月、「皐月」、「薰風緑樹の候」、「May」から、6月、「水無月」、「麦秋の候」、「June」へ。学校では、始業式、入学式、家庭訪問、運動会等と目白押しの行事も一段落し、ホッと一息つかれている頃かもしれません。そして、「さあ、これから！」と教育活動の一層の充実を期されていることでしょう。



【ホトトギス】

5/24 令和4年度第1回地域学校協働本部運営委員会

【地域学校協働本部運営委員会の所掌内容】

- (1) 地域学校協働活動の運営方法の検討
- (2) 事業計画の策定、安全管理方策、広報活動方策、ボランティア等の地域の協力者の人材確保方策等、活動プログラムの企画、事業の検診・評価等
- (3) 前号に掲げるもののほか、事業の運営に関し必要な事項に関する事

5月24日(火)、本年度第1回地域学校協働本部運営委員会が開かれました。所掌内容は上のとおりです。会議ではたくさんの意見が交換され、有り難く思いました。その中から6点を紹介します。

- ◇ (県統括アドバイザーの山平敏夫氏が、令和2年度と令和3年度の「玉名市地域学校協働活動実施報告書」から各校区の活動報告数の推移をグラフにしてくださいました。ほとんどの校区で報告数が増えています。それを受けて…)学校行事等において学校に出向く機会が少なくなったり、社会全体で人の繋がるケースが減っている中、この報告では玉名市は増えている。素晴らしいのではないかな。
- ◇ コロナ禍のため、個人としての学校との関わりはあったが、団体としての関わりが思うようにできなかった。コロナウイルスの感染状況に応じながらやり方を工夫し学校と地域の繋がりを強めていきたい。
- ◇ 学校は普段から推進員さん、学校運営協議会委員さんと小さな会話をし、活動を絶やさないことが大切。推進員さん、学校運営協議会委員さんに支援いただき、地域に繋げていただければ助かる。
- ◇ 校区の駅を核とした行事を創り上げ地域を盛り上げたい、郷土愛を育てる原点にしたい。
- ◇ (上の発表をうけ他の委員さんから)「参加」から一歩進めて、生徒が企画の段階から「参画」し、是非実現してほしい。
- ◇ 学校運営協議会では、具体的方策まで熟議してほしい。



令和4年度玉名市地域学校協働本部年間事業計画

これからの活動に活かしていきましょう。
右は本年度の事業計画です。

	【コーディネート機能】	【多様な活動】	【継続的な活動】
事業内容	<input type="checkbox"/> 学校運営協議会との一体的推進 <input type="checkbox"/> 社会に関わった教育課程を踏まえた 地域学校協働活動年間計画の作成・充実 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員の配置 (22名) <input type="checkbox"/> 会議・研修会等の開催 1: 地域学校協働活動推進員への委嘱状 交付式 (4月4日) 2: 本部事務局の学校訪問 (4月下旬) ※校長異動、推進員交代の学校を対象とする。 3: 地域学校協働本部運営委員会 (5月下旬、3月下旬) 4: 地域学校協働本部 (推進員・地域連携協働担当職員) 会議 (6月、2月) 5: 地域の人づくり講座 (10月~12月) ※中学校区毎に6~7回実施する。 ※推進員、地域住民対象にワークショップ 6: 中学校区推進員連絡会 (中学校区ごとに開催。事務局も積極的に参加) 7: 授業参観、事業参観	<input type="checkbox"/> 放課後子供教室 (6月上旬~2月下旬) ①玉水学びの教室 ②放課後むつみ教室 <input type="checkbox"/> 様々な活動 (各学校区で特色ある活動を実施) <input type="checkbox"/> 学習指導 <input type="checkbox"/> 部活動指導 <input type="checkbox"/> 環境整備 <input type="checkbox"/> 安全指導 <input type="checkbox"/> 学校行事 <input type="checkbox"/> 読み聞かせ <input type="checkbox"/> 児童生徒が参加企画している活動	<input type="checkbox"/> 玉名市地域学校協働本部設置 要綱に基づく活動の実施 <input type="checkbox"/> 「玉名市教育要覧」への位置づけ <input type="checkbox"/> 社会に関わった教育課程を踏まえた 地域学校協働活動年間計画の作成・充実 <input type="checkbox"/> 地域ボランティアの募集、地域ボランティアバンクの活用・更新 <input type="checkbox"/> 事業だより、市ホームページ、市広報誌等を活用した情報提供 <input type="checkbox"/> 学校、PTA、社会教育関係 団体、自治会等のネットワークを活用した周知 <input type="checkbox"/> ハンドブックや参考資料・事例集を活用した地域住民や学校関係者への普及啓発、理解の促進

裏面あり



まずは、ここから！

状況を確認し、次のアクションへ！

下は昨年度2月にも紹介しました「学校と地域との連携・協働状況の確認」の表です。まずは状況を確認し、できるところから少しずつ次のアクションにつなげて行きましょう。進捗状況の確認に使っていただくと幸いです。

学校と地域との連携・協働状況の確認

	チェック項目	× △ ○ ◎
1	地域と学校がともにビジョンやめざす子供像を共有する熟議等を行っている。	
2	地域連携・協働活動に関する年間計画が作成されている。	
3	教職員が地域連携や協働活動の意義を共有する場がある。（研修や職員会議等）	
4	地域学校協働活動推進員との話し合いや情報共有がなされている。	
5	ボランティアルームの設置や教職員への周知など、ボランティアの活動環境が整っている。	
6	活動が子供たちにとって、体験にとどまらず、ねらいに沿った教育活動になっている。	
7	ボランティア募集や学校の教育活動、ボランティア活動の様子を情報発信している。	
8	活動継続のために、振り返りや情報の蓄積を行うなどチーム体制づくりが行われている。	
9	活動の記録を取りまとめ、次年度の年間計画の見直しに生かしている。	

お願い

上の確認表にはありませんが、年度当初、地域学校協働活動推進員さんの身分、勤務内容・勤務時間等を全部の先生方に紹介していただけると有難いです。また、子供たちや保護者、地域の方々への紹介もよろしく願います。地域学校協働活動推進員さんがスムーズに動くことのできる環境づくりをお願いします。

5月12日は「民生委員・児童委員の日」でした

心配ごと、悩みごと
1人で抱えて
いませんか？

5月12日は「民生委員・児童委員の日」ということで、築山小校区・玉陵小校区の民生委員・児童委員さんが、日頃の活動を紹介するチラシとポケットティッシュを登校中の子供たちに配布されました。民生委員・児童委員の方々の活動と本事業は共に「子供の成長」を目指しており、本事業も支援していただいています。将来の「社会の担い手」を育てようという共通の目標を持つもの同士、手を携えていきましょう。



【築山小学校にて】



【玉陵小学校にて】



編集後記

多くの人に知ってほしいです！

昨年度発行した「事業だより」を拡大し中央公民館の大研修室と3階廊下に掲示しています。市民の方々目に留まり更なる周知につながることを願っています。このような機会があり、事務局としても有り難く思います。



【中央公民館大研修室】